



創立100周年記念募金 & 館山寮再建募金 ~100年続く臨海教室を!~



02	東京	払込取扱票				通常払込料金 加入者負担							
口座番号 (右詰めにご記入ください)													
0	0	1	7	0	8	1	4	7	5	1	0		
加入者名	都立新宿高等学校朝陽同窓会				金額	千	百	十	万	千	百	十	円
住所	※(郵便番号)				料				特殊				
(フリガナ) 氏名					金				取扱				
TEL	(旧姓)								(中高 回卒組)				
必ず該当欄にレ印をつけて下さい。													
<input type="checkbox"/> 百周年記念募金 寄付__回目(一口1万円)(金額__円) <input type="checkbox"/> 館山寮再建募金 寄付__回目(一口1万円)(金額__円) ・芳名顕彰 募金をされる方は必ず掲載可否にレ印ください ・同窓会誌(「朝陽」等)掲載の可否 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 ・銘板掲載の可否 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 同窓会年会費 2,000円(卒業5年以内の方は免除) <input type="checkbox"/> 長期会費 10,000円(6年分)													
裏面の注意事項をお読み下さい。										(私製承認東第4732号)			
受付局日附印													

払込票兼受領証

口座番号	0	0	1	7	0	8	通常払込 料金加入 者負担	
右詰めにご記入ください								
	1	4	7	5	1	0		
加入者名	都立新宿高等学校 朝陽同窓会							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
払込人氏名	※							
料	(消費税込み) 受付局日附印							
金	円							
特殊取扱								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
 切り取らないで郵便局にお出しく下さい。

各票の※印欄は、払込人において記載してください。

募集要項

- 名称 創立100周年記念募金（第Ⅲ期）
- 目標額 最終目標 2022年度 1億円
（現在6,800万円／残り3,200万円）
- 目的
 - ・ 朝陽奨学金の給付
 - ・ 館山寮の改築（維持補修費）
 - ・ 集いの場の確保
〔長期無償借用が可能なオフィスの一部、マンションの一室などの物件情報をお寄せ下さい〕
- 期間 第Ⅲ期2020年度末までの2年間

- 名称 館山寮再建募金
- 目標額 最終目標 2022年度 5,000万円
（現在2,300万円／残り2,700万円）
- 目的
 - ・ 男子棟再建資金
 - ・ 改築資金（女子寮等）

募金単位一口1万円出来れば複数口を！ 1万円未満のご寄付もお受けいたします

払込方法

次の3つの払込方法よりご利用下さい。同窓会ホームページのトップページにある「寄付金・会費の振込はこちらから！」にも同様のご利用方法が掲載されていますのでご覧ください。

◆郵便局払込 本紙の払込用紙をご利用の上、お近くの郵便局から払込願います

- ◆銀行振込
 - ・ 振込先口座 三菱UFJ銀行新宿通支店（支店番号050）
普通 2699254 朝陽同窓会
 - ・ お願い 振込依頼人名は、卒回・対象区分・お名前の順に入力下さい
対象区分：100周年募金 H、館山寮再建募金 T
記入例 10T シンジュクタロウ（新10回生の館山寮再建募金の例）
R7H チョウヨウカク（旧制の場合は卒回の前にRを付す）
ST チョウヨウカク（旧教職員の場合は頭にSを付す）

◆クレジット決済 ホームページ「寄付金・会費の振込はこちらから！」にリンクした次のURLからご利用ください、VISAとMasterCardがご利用できます <https://salat.club/chouyou/>

◆個人情報の保護 ご寄付に際し頂いた氏名や個人情報は朝陽同窓会の個人情報保護方針に基づき朝陽同窓会活動に必要な場合のみに限定利用します

◆寄付の税制上の優遇措置 朝陽同窓会が人格のない社団（任意団体）であるため、適用はありません

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、下部の欄（表面及び裏面）を汚したり、本票を折り曲げたりしないでください。





東京府立第六中学校が設立された翌年1923（大正12）年7月塩見朝陽舎が落成し、1・2年生278名が参加し、第1回臨海教室を実施。しかし、直後の9月、関東大震災により朝陽舎は倒壊。それでも、朝陽会債を募集し、翌年塩見朝陽舎は不死鳥のようによみがえった。

現在の館山寮は、1967（昭和42）年に落成したのですが、昨年秋の15号台風で男子棟屋根を吹き飛ばされ、跡片付けと応急措置には朝陽水泳会OB/OGのお力をお借りしました。（財）朝陽会内に館山寮「再建委員会」を設置し、ご検討いただきましたが、2020年夏までの復旧は難しいとの判断で、2021年夏を目標に再建することになりました。そこに降って湧いた新型コロナウイルスの世界的伝染です。母校の休業は5月末まで続き、夏休みも大幅に短縮されます。

この間、館山寮再建募金をお願いしたところ、浄財は約2,300万円になり、PTA様も独自の募金でご協力いただきました。皆様の熱いお気持ちに感激し、心から御礼申し上げます。ふたたび不死鳥をよみがえさせる工事費用は、再建募金を基礎に、保険金（約8,600万円）内でまかなう予定で

すが、今後も館山寮再建募金（残り2,700万円）は継続させていただきます。維持補修費用だけでなく、近い将来想定される女子寮の改築にも備えるためです。

100周年記念事業のもう1つの柱は、「集いの場」を設けることでした。明治通沿いのマンション一室を事業準備室として賃借しましたが、7月で2年契約を解約することにしました。費用対効果を考え、苦渋の判断です。

今後の100周年記念事業募金（残り3,200万円）の力点を、2016年から支給を開始した給付型「朝陽奨学金」事業に移し、100周年後も支給が継続できるように基金として確保します。さらに、2022年が迫るなか、募金の支出対象を、100年誌編集、記念祝賀会、記念音楽会、記念名簿発行、募金芳名録銘板設置など、他の記念事業にも拡げさせていただきたい。

創立100周年を機に母校新宿高校がさらに発展するため、同窓会会員皆様のご理解、より一層のご協力とご支援を切に、切にお願いする次第であります。

(2020年6月記)

館山寮再建に向けて（ご報告）

昨年の9月の倒壊以来、再建委員会の設立・協議、皆様方からの再建募金のご協力を経て今日に至ります。2020年度は第一期工事として、男子棟の解体撤去、トイレ・風呂の改修を今夏に終えました。2021年度は第二期工事として、男子棟の再建とコロナ対策、更に老朽化している女子棟の改築を視野に入れた計画を策定することとします。



2019.9 倒壊

◆基本的な考え方

1. 工期：2021年度6月完成とし臨海学校再開に備える
2. コロナ対策：都の指針に基づき、保健室等の設置を検討
3. 女子棟：男女同等の施設を考慮し老朽化の女子棟改築を計画に含む

◆予算 再建に関わる予算の限度額を女子棟改築も含め手持ち資金内とする

◆施工計画

1. 建設仕様：学校側と協議して「館山寮改築委託要領書」を作成し、既提示を受けた建設会社8社の中から、財務状況、建設実績などを考慮し3社に絞り再見積もりを取る
2. 工程

・仕様確定し最終見積依頼	10月下旬
・建設業者1社決定、財団理事会承認、内定通知発送	12月上旬
・建設業者と契約締結	12月
・第二期工事開始	1月
・完成	6月
3. 施工管理：館山寮再建委員会にて管理（一級建築士3名を含む4名）



2020.5 復旧作業と整地化



2020.7 第一期工事完了
(男子風呂、トイレ)



新宿高校にとって開校以来続いてきた臨海教室は、他校ではほとんど見られなくなった特別な行事である。

また、我々保健体育科の教員にとっては臨海教室を安全に実施し、その伝統と開校以来の無事故を後世へと繋がないでいくことは最大の責務である。私自身もそのプレッシャーから毎年春を過ぎると、海が荒れ狂い、波にのみこまれる悪夢に飛び起きる日がある。

臨海教室の主役はもちろん生徒であるが、この行事の実施は朝陽水泳会(水泳部OBOG会)の存在なくして成しえない。若手OBOGと一緒に、毎月の臨海プロジェクト会議にて、喧々譁々の議論の中、時代に合わせたより良い臨海教室を作り上げていく。現地においては、生徒に寄り添い、声を枯らしながら伴泳し、生徒が寝静まった後も夜遅くまでミーティングを続ける姿には頭が下がる。それを一歩下がってバックアップする、大ベテランOBOGとの連携も見事である。朝陽水泳会の館山に対する愛情でこの行事は成り立っている。

その臨海教室における、戦後最大の危機が昨秋の台風直撃による男子寮の倒壊であろう。現地で見えた男子寮の姿に絶句した。

元より、2020年の臨海教室実施は、東京オリンピックへの対応に四苦八苦していた。オリンピックの期間と臨海教室の実施期間がほぼ重なっているのである。バスを借りられるのか、首都高速は通行できるのか。議論を重ねる中での男子寮倒壊。それでも2020年の実施の可能性を探り、

あらゆる可能性を議論した。残された女子寮だけでできないか、立川高校の清明寮、慶応大学水泳部葉山部門の寮、その他近隣の施設を借りることはできないか…香の集会所に泊まることはできないか…現地で視察したところ、ギリギリ男子は寝泊りできそうだ。しかし、OBと教員の場所が確保できず、トレーラーハウスを借りる案も出た。見積りも出してもらった。2泊3日がダメなら、大遠泳を諦めて1泊2日で出来ないだろうか…しかし、2月になり、2020年度の臨海教室中止が決まった。生徒の安全を考えると、やむを得ない決定であった。

しかし我々も諦めきれなかった。97年間の府立六中と新宿高校の歴史の中で、臨海教室が実施できなかったのは、戦時中と東日本大震災の時だけである。開校1年目の関東大震災は乗り越えている。宿泊できないのなら、日帰りでもいいから、75回生に館山寮と香の海を見せたい、館山知らずの学年を作りたくない、悪あがきをしていたところで、2月末よりコロナウイルスにより休校となった。

本来臨海教室が実施される夏は、おそらく授業となるだろう。75回生には、何らかの形で館山の空気を吸ってほしいと検討している。また、1年スライドした東京オリンピック対策も、引き続き臨海プロジェクトとして乗り越えていきたい。

(2020年6月記)

館山寮の生活をもう一度



30年以上前の臨海学校。曇り空のもと到着すると、濃い緑の木々と空に囲まれた赤い屋根の寮から、先生方が迎えてくださりました。その建物は古く、床は砂まみれ、高校生にとって狭いうえに虫も沢山。そして海での練習は寒さに震えながらのものでした。強烈な印象でしたが、遠泳を無事に終えた達成感と友だちと過ごす楽しさと共に忘れがたい思い出となりました。

卒業後も朝陽水泳会として臨海学校の指導に参加し、生徒たちの不安を抱え緊張した表情が、遠泳を終える頃には達成感と友だちと打ち解けた明るい表情が変わるのを見て、嬉しさと共感を体験させていただきました。

わが子にもこの素晴らしい集団生活と海での遠泳を体験できる小学校を選びましたが、同様の考

朝陽水泳会 駒形昭子 (43回) (旧姓富永)

えで選択された保護者ばかりで、これは臨海学校を行う学校が少ないためと考えます。このため、館山寮が無事に再建され、生徒たちがこの貴重な臨海学校を体験することを切に願います。

昨年訪れた館山はあの頃のまま、澄んだ青い空に映える赤い屋根の寮、たまらなく熱い砂浜と塩からいけど穏やかな海が迎えてくれました。再建後、みなさまもあの風景を体験しに行きませんか。

(2020年5月記)





コロナショックに全世界が怯え人々の記憶が書きさされてしまっても、私は令和元年9月9日未明に房総半島を直撃し、館山に甚大な被害をもたらした台風15号を決して忘れない。

あの日、私と同じ歳の館山寮男子棟の屋根が全て剥ぎ取られ、ぽっかりと開いた大きな穴を見た時の衝撃はすぐさま喪失感と寂寥感に変わり、復旧に駆けつけた我ら全員の言葉を奪った。

朝陽水泳会会長・佐藤栄作先輩 (24回)、副会長の下島先輩 (23回) を筆頭に、70回までのOBOGと厨房責任者の小島さん達の心にも同じくらの穴が開いていたように思えた。

それから間もなく、財団代表理事兼同窓会会長・田中先輩 (17回) の下、同窓会事務局長・寺澤

先輩 (22回)、元PTA会長・岩崎君 (38回)、損保会社勤務・近藤君 (38回)、一級建築士・原田君 (48回)、そして私を中心に寮の再建委員会が発足。2022年の新宿高校100周年の前年に館山寮の完全復活を当面のゴールとしている。

「臨海教室を終えて初めて新宿高校生になれる」。教育理念である「(海の) 大家族主義」を体現する場であり、同窓会の故郷であった館山寮は来夏には『令和の館山寮』となり、オールシーズンでの寮運営や地元との共生など、新たな広がりを生む可能性に満ちている。そのためのアイデア、皆さんの叡智と支援のご提供を強くお願いし、本稿の括りとする。

(2020年4月記)

創立100周年記念事業経過報告

2014年、「創立100周年記念事業実行委員会」の発足以来6年が経過。この間多くの会員の皆様のご協力に支えられ、募金事業や一般記念事業を進められここまで至りました。誠にありがとうございます。ここに館山寮再建募金と合わせて経過と今後についてご報告いたします。2年後の創立100周年記念事業の成功に向けて引き続きよろしくお願致します。

			(百万円)
事業名	項目	実施年度	金額
募金事業	創立100周年記念募金	2015～2020/9現在	67.8
100周年事業 募金対象事業 (支出)	館山寮改修(食堂、厨房等)	2016/2017	16.5
	奨学金給付(毎年)	2016～2019(今後継続)	4.8
	事業準備室設置(賃借)	2018/8～2020/7(終了)	5.5
100周年事業 一般事業	朝陽合唱団設立	2015	
	ホームカミングデー開催	2016/2017/2018/2019	
	新宿体操(業間体操)DVD寄贈	2017	
	100周年記念ロゴ制作	2017	
	100周年誌発行	2022予定	
	記念音楽会開催	2022予定	
	記念祝賀会開催	2022/10予定	
	寄付者芳名銘板設置	2022予定	
	上記以外事業	継続	
	館山寮再建事業	館山寮再建募金	2019/12～2020/9現在
館山寮男子宿泊棟被災保険金		2020/1受取	86.6
館山寮再建事業 (支出)	男子宿泊棟解体撤去、風呂・トイレ改	2020/7完了	16.0
	男子宿泊棟再建	2021/6竣工計画	計画中
	女子宿泊棟改築	未定	未定

◆100周年事業 奨学金

2019年度実績 13名 (130万円) に給付しました

- ・学年奨学金 9名
- ・就学援助金 1名
- ・あい基金(進学援助金) 3名

2020年度予算 21名 (210万円) 支援家庭増を考慮し増額

◆100周年事業 集いの場

- ・100周年事業準備室の閉鎖
- ・賃借契約を解約し2020年7月閉鎖
- ・2年間のご利用ありがとうございました

◆ホームカミングデー

今般の新型コロナウイルス感染拡大を受け、参加者皆様の健康・安全面を最優先に、2020年度の開催を中止します

100周年記念募金・館山寮再建募金(2019年度分) 寄付者一覧 (2019.4.1～2020.3.31、敬称略)

- ・ご芳名掲載のご承諾をいただいた方を対象に、卒年期毎にあいうえお順にて掲載しています
- ・但し、「館山寮再建募金」寄付者については、非掲載の申し出のあった方を除き、全員のご芳名を掲載しています
- ・ご承諾されながら掲載されていない方につきましてはお詫び申し上げます。事務局までご連絡下さい。次の機会に掲載させていただきます。
- ・2019年度寄付件数 創立100周年記念募金 432件(内、278件掲載) 館山寮再建募金 1,080件(内、772件掲載)

2019年度募金にご協力いただいた同窓生の皆様へ感謝を込めて

—— 創立100周年記念募金 ご芳名 ——

【旧教職員】	【第10回生】	梅本 敬史	下田 俊幸	磯村 悦子
奥山 英男	磯野 節子	梅本 建	谷口 博	岡本 任史
【中第16回生】	井上 章夫	菊池 淑子	中村 隆幸	水口 健治
山塾井 乙彦	大高 浩	谷 隆二	平野 一雄	【第30回生】
【中第18回生】	曾田 肇	南雲 章彦	本村 眞澄	河合 利彦
武富 邦中	多田 宏	平田 教次	吉清 一郎	野崎 正
田崎 昭太郎	長谷 弥生	本間 信行	【第22回生】	早川 徹
【中第19回生】	原科 孝雄	武藤 清	池本 龍人	森本 妙子
白田 茂	【第11回生】	横山 繁盛	岩田 顕	【第31回生】
【中第20回生】	稲田 稔	【第17回生】	佐藤 新	川島 幹雄
佐藤 秀昭	岩崎 隆四郎	大竹 邦生	鈴木 豊幸	櫻井 里豊子
中島 佑輔	岡部 敬	嘉山 兼孝	長原 晴次	鈴木 雅之
【中第21回生】	倉成 正也	岸 重雄	中村 裕男	鈴木 雅之
山本 保	齋田 孝	佐藤 喜八	西村 隆男	吉川 仁子
【第1回生】	島田 徹	澤田 俊夫	【第23回生】	【第32回生】
上保 哲章	田中 収三	芝崎 泰雄	下島 正幹	石山 睦美
山内 和彦	長谷部 元宏	白井 光雄	成川 新一	岩崎 一弘
【第2回生】	松下 芳亮	田中 俊郎	林 博昭	鈴木 隆司
竹内 淳実	【第12回生】	徳丸 優一	諸岡 妙子	辻 美隆
橋本 孝雄	福井 健統	芳賀 元	【第24回生】	野中 道生
森 武美	細井 大二	丸山 劫外	井坂 勉	藤本 創
【第3回生】	【第13回生】	【第18回生】	石川 雄二	森岡 誠
倉持 義徳	伊丹 昭雄	荒井 達雄	氏家 義太郎	【第33回生】
【第4回生】	大井 清嗣	神谷 博行	上村 耕司	今井 基晴
岡崎 重美	岸 恵子	草川 衛	神崎 正巳	貝原 俊明
河内 明弘	岸 信行	小井沼眞樹子	佐藤 栄作	河村 知行
長野 章夫	佐藤 攻行	塩田 重勝	高橋 成美	志田 隆之
【第5回生】	中川 智康	志村 澄子	濱名 正二	鈴木 康之
平 明子	根本 裕久	松田 英三	原田 真理	中野 卓
田中 郁美	平井 通宏	【第19回生】	本多 均	本多 良子
田中 秀	松澤 恭弘	稲見 千賀子	森藤 邦子	【第34回生】
【第6回生】	安原 二郎	大塚 千里	【第25回生】	池田 琢磨
石井 弓夫	【第14回生】	鍛冶 隆志	早川 博	小野 瑞城
内野 安子	上野 高尚	君塚 光文	林 守孝	【第35回生】
川西 瑛子	菊地 大東	清水 正明	原田 康弘	佐藤 剛
小宮 光三郎	塩沢 勲	野口 謙治	細田 美智子	澤田 康広
佐々木 次郎	鈴木 洋	丸川 章	矢口 勝彦	眞宅 弘光
志村 明一	鈴木 悠二	三宅 博	弓家田 洋一	田邊 光
中杉 録郎	原 靖	山田 博	【第26回生】	二階堂 智生
本多 信一	東山 道之	山名 良	北原 敏幸	星野 治
【第7回生】	藤原 邦彦	【第20回生】	木下 知子	村田 弘和
稲垣 進一	三瀨 信道	石井 道雄	木村 圭子	【第36回生】
上田 周二	【第15回生】	上村 なる	田神 仁	堀 圭吾
田中 泰郎	秋山 小南	卜部 敏直	武田 利明	【第37回生】
舟久保 登	秋山 紘	大滝 由美子	梨谷 実	尾後貫 浩
横田 昌子	一志 毅	小野 元子	橋原 龍哉	小松 元彦
吉村 悟	井出 勝也	関根 真應	二宮 敏雄	武井 悟
【第8回生】	小川 肇	田藤 清邦	古川 亮	竹谷 清
宇沢 充圭	神山 正弘	中村 直明	横内 智子	行方 史郎
片岡 昭之	嵯峨 康生	日置 滋	【第27回生】	藪 智子
喜多 功	正田 良次	松川 昭久	上西 康友	【第38回生】
小林 暁生	西出 紀久	武藤 邦生	北島 行雄	近藤 竜正
宮武 光吉	藤田 楯彦	武藤 文隆	工藤 達夫	佐藤 卓
【第9回生】	藤原 英二	【第21回生】	黒岡 慶子	七尾 徳波
加賀美 正敏	古川 秀昭	奥畑 哲史	立花 敏弘	増田 功
木村 睦子	本多 武	木実谷 哲史	藤田 成子	横山 智恵
後藤 茂彦	松澤 隆	河内 和子	【第28回生】	【第41回生】
長峰 重英	【第16回生】	小林 滋美	秋保 哲	早川 和宏
西尾 勝	飯田 一彦	芝山 仁	【第29回生】	宮岡 誠

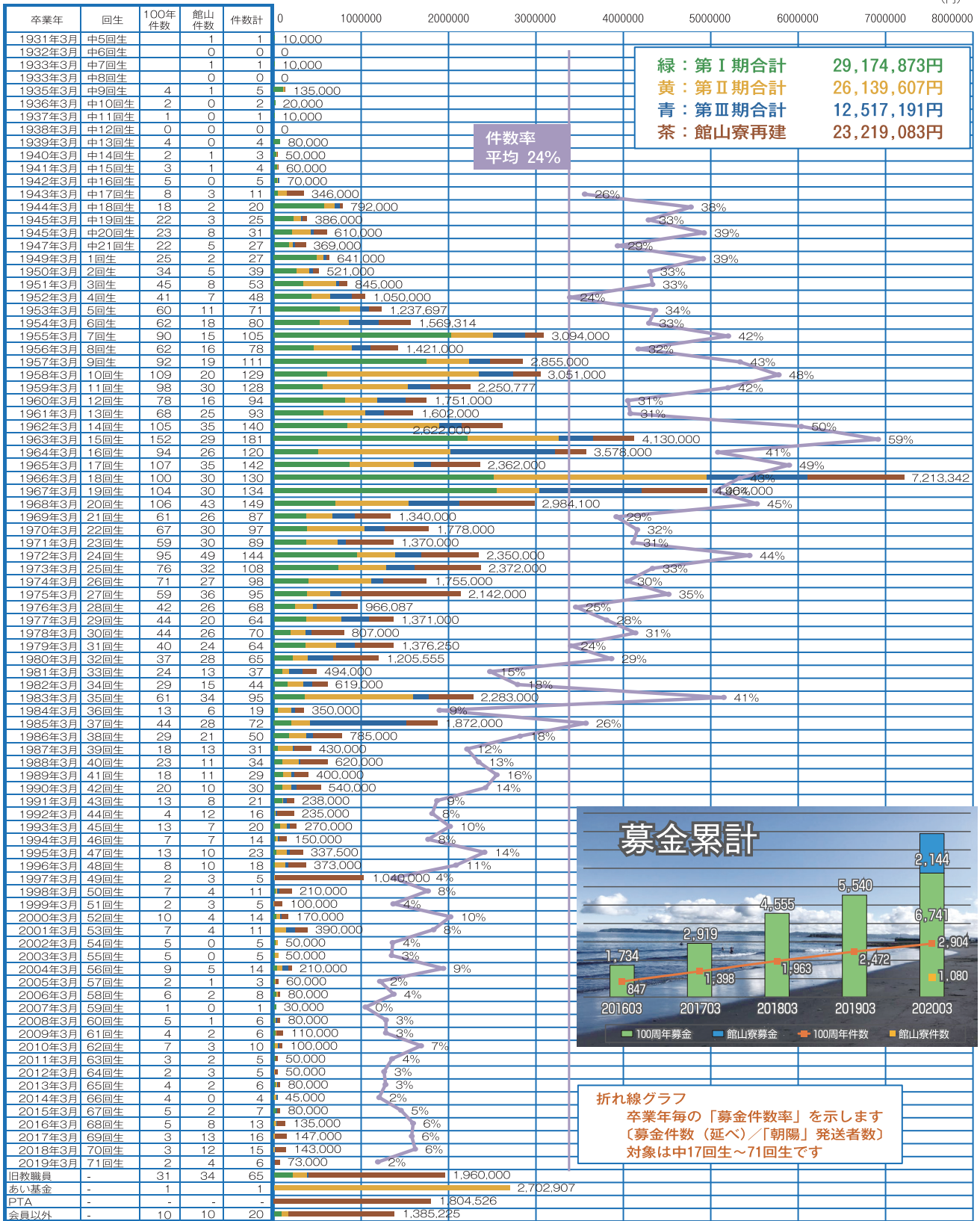
【第42回生】	【第47回生】	田中 真之	【第66回生】	六新会有志
五十嵐 秀樹	市川 太郎	【第56回生】	渥美 正樹	(6回生)
田中 恵美	海野 貴之	佐々木 真理	【第68回生】	緑酔会 (10回
【第43回生】	【第48回生】	松前 元	鈴木 宏治	生)
駒形 昭子	近藤 由香里	【第58回生】	【第70回生】	11回同期会及
塩沢 英輔	【第50回生】	秀方 遼	加納 光	び二木会
中辻 健介	姜 在根	【第60回生】	【第71回生】	20回同期会
【第44回生】	【第52回生】	斎藤 友里子	名取 彩雲	(楡の木会)
関嶋 政和	鈴木 大輔	名倉 千寿子	服部 浩也	
【第45回生】	富樫 朋美	【第62回生】	【グループ・	
【第53回生】	【第53回生】	藤川 三世	有志】	

—— 館山寮再建募金 ご芳名 ——

【旧教職員】	後藤 俊明	渡邊 保	成瀬 輝一	大木 繁男
会田 睦晃	坂本 貞枝	【第10回生】	堀越 仁治	大槻 眞生
阿部 清	佐々木 次郎	磯野 節子	松本 順子	大塲 敦彦
荒川 留美	田畑 豊	大高 浩	御手洗 顕	杉田 兵吾
今泉 浩子	土井 郁郎	片倉 正彦	【第13回生】	竹内 光介
岩波 裕治	野村 嶺	黒岩 一紘	岩澤 謙	谷野 柁雄
後藤 高乃	樋口 徹	斎藤 朝三	岩田 誠	坪井 洋子
永岡 美恵子	本多 信一	酒井 宏	内山 正宏	鳥海 清子
降幡 高志	三浦 正純	佐藤 昌道	岡田 勲夫	永井 照章
古田 明美	山本 順子	高橋 一修	岡部 有治	縄田 晴明
細谷 美代子	吉田 順吉	滝沢 浩	桑原 紀夫	西出 紀久
松崎 吉照	【第7回生】	多田 宏	小宮 真二	西本 堯史
溝口 悦子	奥山 佳史	中島 邦子	佐藤 峯子	長谷川 治子
【中第17回生】	捧 暢夫	中島 紀義	清水 邦彦	馬場 悠男
百目鬼 清	鈴木 茂男	本井 克紀	竹尾 昭	引関 美登里
【中第19回生】	高橋 久藏	吉田 隆直	中西 泰比古	船津 重宏
蓮井 治	高橋 邦夫	【第11回生】	永野 文久	本多 武
【中第20回生】	高屋 千鶴子	安達 忠義	嶋嶋 郁夫	松澤 隆
安達 祝伍	田中 泰郎	西岡 光世	矢野 義明	矢野 義明
佐藤 和直	野田 兵衛	石野 毅一	穂積 弘一	山本 明子
清水 典郎	吉野 永之助	稲田 稔	元山 宏	【第16回生】
中島 佑輔	【第8回生】	岩田 和子	森 正章	天達 稔
【中第21回生】	石橋 徳雄	上床 祥彦	矢島 毅彦	飯田 一彦
中條 恒男	宇沢 充圭	大野 正道	【第14回生】	伊東 俊秀
【第1回生】	岡田 勲	大森 康晴	磯村 治英	上村 伊佐緒
上保 哲章	岡室 進	小田 日出夫	黒澤 正義	植村 克樹
栗田 俊信	片岡 昭之	柏原 一公	佐藤 勝	梅本 建
【第2回生】	高坂 盛彦	久世 敏正	清水 隆	大坪 正彦
森 武美	小林 暁生	竹原 洋一	鈴木 洋	菊池 欣也
山田 浩	小林 晃一	田中 収三	鈴木 悠二	木村 眞一
和氣 三郎	富田 純明	中柴 欽一	都河 和彦	西郷 幹正
【第3回生】	中島 悟	長塚 宗久	鶴田 六郎	鳥井 駿藏
岩橋 洋一	宮武 光吉	長谷部 元宏	寺村 三郎	鈴木 勝男
小木 和孝	湯佐 泰直	平松 由紀夫	中桐 俊	角谷 文祐
谷島 昶	【第9回生】	深沢 正宏	藤村 紀明	西出 大司
【第4回生】	青木 照幸	藤村 紀明	星 元紀	浜中 公子
岡崎 重美	足立 英夫	堀江 昭彦	星 元紀	麦田 浩一郎
尾崎 俊一	上野 健二郎	堀江 昭彦	前川 祐三	武藤 清
堀 幸夫	加賀美 正敏	前川 祐三	松下 芳亮	山口 幸四郎
【第5回生】	加島 義正	若林 久嗣	若林 久嗣	山田 新
河合 明博	木村 睦子	後藤 茂彦	【第12回生】	若林 茂章
鈴木 陽子	小林 和子	柴田 昌彦	岡光 剛	【第17回生】
高橋 利明	田中 秀	【第41回生】	織田 昌彦	阿比留みど里
【第6回生】	関山 隆弘	西尾 勝	河野 道一	【第15回生】
鎌田 吉郎	川西 瑛子	皆川 恒男	富田 邦明	井上 治朗
				大谷 猛夫
				柏木 眞一

桃島 倭藏	本田 正	岩田 顕	林田 千春	荻原 淳	難波 直樹	松浦 清美	林 衛	馬場 吉郎	松前 元
嘉山 兼孝	三宅 博	笠井 加代子	原田 真理	小田 淳	野崎 正	松澤 智樹	三上 史子	【第44回生】	蓑 よしの
唐嵩 勝子	村上 志郎	河西 祥子	樋口 嘉雅	工藤 達夫	古木 久美子	山口 秀弘	渡辺 聡	赤木 千春	【第58回生】
桑原 龍司	山形 晴樹	加藤 裕志	藤川 芳己	久保木 克昌	三室 茂子	【第34回生】	【第38回生】	荒 大輔	後藤 まゆこ
小島 美恵子	山田 博	岸上 豊	古野 宏明	榊原 功子	柳澤 健	池田 琢磨	岩垂 史	武士 純子	松澤 純平
小林 和子	吉岡 喜人	岸本 敏郎	細谷 洋子	榊原 茂	山崎 好子	大和 政司	小川 直子	津田 和彦	【第60回生】
酒井 坦	【第20回生】	見坊 信光	本多 均	志賀 直仁	渡辺 勇雄	小野 瑞城	加瀬 耕平	【第45回生】	名倉 千寿子
坂倉 久利夫	伊東 潔	斎藤 修	松家 直子	田中 均	伊沢 元行	南雲 匡	神山 雅美	郡 庸介	【第61回生】
澤田 直道	宇賀神 博	斎藤 晴樹	宮崎 直子	中野 俊之	伊沢 元行	濱口 建	川橋 啓史	駒井 忠士	青木 麟太郎
芝崎 泰雄	内海 和昭	神向寺 信二	宮本 真智子	中林 明浩	伊藤 由紀子	春日 祥策	菊山 真二	コルソーパー知子	増田 美和
嶋田 正大	下部 敏直	曾田 大二	山賀 博子	西宮 佑二	宇佐美 哲	本間 謙	曾根 逸人	田仲 朗	【第62回生】
住本 志津子	大桃 健一	寺澤 忠興	山下 眞澄	新田 恵子	太田 啓武	宮地 勝彦	高木 純世	寺沼 久仁子	小澤 菜穂
曾我 英治	小野 元子	戸田 博史	【第25回生】	野口 雅数	織田 ゆかり	【第35回生】	谷内 郁子	吉原 優子	中村 祥
竹田 貞夫	小幡 秀雄	長原 晴次	浅原 寛人	箱木 五郎	川島 幹雄	青木 真由美	長瀬 光代	【第46回生】	横山 貴啓
武田 憲夫	湯見 恵美	沼田 行雄	足立 泰之	平松 重雄	木下 孝史	安部 ふゆみ	羽田 二郎	浅沼 一弘	【第64回生】
田中 俊郎	加藤 直規	根本 隆夫	鷗城 和子	藤田 成子	櫻井 里豊子	今永 克洋	前田 功	高橋 潔	峯島 隆
中川 行康	加藤 文男	橋谷田 ゆり	岡崎 真彦	松野 淳子	真竹 秀樹	岩崎 寿子	増田 功	中西 典子	【第65回生】
西 明子	金森 幸男	広田 雅彦	窪木 稔	水越 博信	田中 直彦	内村 久美子	松尾 孝俊	中村 朝之	笠原 夏実
堀 貞行	神崎 修	丸山 昭夫	後藤 周一	山戸 衣絵	中澤 伯人	江口 まゆみ	三木 健史	牧田 納幸	長江 童夢
堀 睦子	楠瀬 勤一郎	光畑 茂	小林 敦子	米山 裕子	中林 純子	江藤 宏範	谷津 真理	【第47回生】	【第67回生】
渡邊 莊逸	久米 晴美	三瀨 忠道	小松原 充	【第28回生】	成田 あかね	海老原久太郎	【第39回生】	市川 太郎	塚本 穂高
【第18回生】	佐藤 勇夫	和氣 秀樹	小山 春美	秋保 哲	野村 貴一	太田 圭子	五十畑 直子	今泉 弘行	【第68回生】
池田 修	島田 生徳	【第23回生】	佐藤 雄一郎	石毛 京子	古屋 雅	佐藤 孔美	岡田 俊一	大村 水	伊藤 寛晃
海野 三郎	清水 みどり	天田 守久	佐藤 恵子	伊藤 俊哉	前田 文子	篠原 智子	坂戸 延夫	小寺 正人	金丸 浩平
大西 孝彦	杉崎 博	太田 貞敏	高野 直樹	岡村 力	三原 健幹	眞宅 弘光	佐藤 京子	並河 洋	長江 宙夢
小澤 進	鈴木 徹	川西 徹	原川 博	小野 勝彦	明珍 幸一	須藤 収	妹尾 幸子	橋原 常宣	平山 雄一朗
角田 眞樹	関根 真應	黒根 輝雄	早田 康弘	島崎 主税	山口 雅子	岩崎 聡	立川 調	野上 愼太郎	矢萩 はな
草川 衛	高林 克日己	迫田 悟	廣野 常也	関 則夫	【第32回生】	田村 健	立川 理恵	藤村 恵子	【第69回生】
黒崎 繁雄	田藤 清邦	佐藤 裕志	藤井 静雄	柴谷 明良	青田 充弘	二階堂 哲生	谷口 政和	山口 剛	阿部 賢志郎
塩田 重勝	中村 直明	下島 正幹	藤田 勝也	内藤 淳	秋山 知隆	二階堂 由香	中田 愛子	【第48回生】	伊藤 純也
柴田 眞樹	野宮 博	鈴木 佳津子	藤田 佳子	西尾 哲也	岩崎 一弘	西村 典子	濱田 調平	金子 良枝	伊藤 匠社
杉山 久	林 伸行	谷口 弘子	細田 美智子	古橋 明彦	榎本 義明	長谷川 雅子	丸藤 圭子	桑原 恵里	【第70回生】
曾田 五月也	原田 秀樹	辻野 直史	松村 秀典	前田 晃江	大谷 真理子	樋口 昌子	【第40回生】	小池 崇喜	青柳 知里
高橋 道郎	日置 滋	遠山 承克	宮部 信一	森 信也	岡崎 昌紀	菱倉 真理	岩橋 研一	河野 松平	遠藤 広貴
武田 修一郎	船橋 佳子	矢口 勝彦	山田 英司	信也	岡田 純里	藤江 敏郎	大塚 庸史	近藤 由香里	梶岡 藤江
竹山 幸成	松川 昭久	仲田 龍男	冨家田 洋一	横山 清見	数野 哲	王 久子	坂本 麗子	原田 将史	加藤 大智
田中 久	宮川 清	前野 一雄	若村 啓子	【第29回生】	加藤 茂雄	【第36回生】	巽 真理	平賀 万里乃	金持 木太郎
田辺 誠	武藤 文隆	松本 龍夫	相浦 康之	相浦 康之	齋藤 良太	砂金 弘美	田中 祐子	若井田 暁	佐々木 愛実
塚本 保夫	森田 康子	山田 伸一郎	青井 郁夫	石田 渉	左向 正明	宇野 嘉晃	日向野 格	【第49回生】	妹尾 穂乃
楢垣 不二夫	山川 悦子	米澤 芳彦	井岡 卓也	石渡 登志江	柴野 晴美	日下部 千加	藤森 誠	竹内 浩史	長江 歩夢
藤原 松雄	米本 行範	【第24回生】	伊賀 春彦	磯村 悦子	柴野 誠	中埜 拓	藤原 貴也	塚本 玲子	細川 美央
松島 由夫	【第21回生】	阿部 修	市川 信行	今西 淳一	白川 敦	堀 圭吾	【第41回生】	堀切 康平	【第71回生】
水谷 正一	太田 祥子	五十嵐 耕一	内山 和久	植松 茂雄	鈴木 隆司	八木 毅	宇賀神英津子	【第50回生】	安部 瑞希
村井 隆	岡崎 信道	石井 聖一	浦 由之	大淵 眞男	高橋 寛	【第37回生】	大道 美和	明石 悠一	竹中 友麻
最上 和親	小川 洋子	岩下 明	江幡 由之	川村 喜昭	竹内 英之	石川 美子	加藤 友海	池内 泰	名取 彩雲
森 正樹	小野 眞理子	氏家 義太郎	大久保 里美	国塚 健二郎	野中 道生	岩山 隆寛	加藤 英明	【第51回生】	【グループ・有志】
横尾 義春	工藤 徹	牛尾 宏	大場 恭子	久米 実	平澤 明雄	上野 昌枝	田中 美香子	高倉 正憲	ろくらす会
【第19回生】	黒田 益夫	太田 陽一郎	鬼木 崇嗣	小高 優	平瀬 享児	尾後貫 浩	依田 明	【第52回生】	(4回生)
諫山 忠則	河内 和子	加藤 利治	鬼木 裕子	佐藤 彰	藤本 創	小佐野 隆治	中原 紀子	【第52回生】	六中21回生同
市川 一泰	後藤 昭	河東 宗文	金杉 一朗	信田 直昭	官島 依子	河崎 崇	早川 和宏	【第42回生】	期会
梅野 道子	小林 信治	上村 耕司	久保 祐一	伏島 幸子	【第33回生】	小松 元彦	【第42回生】	【第42回生】	24回生有志一
大石 和夫	三枝 茂夫	神崎 正巳	桑本 秀和	水口 健治	柏木 久美子	白川 聡子	加瀬 靖文	【第53回生】	同
大橋 淑子	関 謙二	喜柳 俊幸	田神 仁	村井 泰	小島 とも子	田代 幸代	菊地 慎太郎	田中 真之	38回生忘年会
川上 芳正	谷口 博	小坂 和子	武田 利明	横山 雅彦	鈴木 康之	永久保 哲也	喜多村 明子	中村 沙織	朝陽硬式テニ
河村 知信	津川 清一	小森 景司	土井 一見	【第30回生】	知久 岳史	行方 史郎	佐藤 聡子	【第56回生】	ス部会
子安 彰夫	中村 隆幸	酒井 邦彦	樋口 謙三	芦沢 博道	戸間 直宏	橋爪 正明	三谷 昌孝	佐々木 真理	
桜井 芳信	西谷 義敬	佐藤 栄作	古川 健	石川 仁	藤井 真	羽藤 俊昭	【第43回生】	杉本 洋平	
島田 豊彦	樋口 誠	佐野 良雄	水口 春幸	大園 高明	堀田 尚宏	濱田 真輝	有吉 泰	能美 容彦	
称原 良一	益子 茂	杉浦 康之	三矢 恵子	齋藤 令子					
滝川 洋二	三輪 義信	龍岡 友子	脇 未知子	清水 智恵子					
富岡 秀	本山 芳裕	谷口 康宏	【第27回生】	清水 義友					
野口 譲治	吉田 あつ子	塚原 千勝	秋田 米生	清水 美砂					
萩原 泰夫	【第22回生】	土井 隆之	石澤 雄一	鈴木 和哉					
福島 淑子	有澤 正義	土井 利和	上西 康友	高橋 弘光					
本多 清孝	池谷 元良	枡谷 泰文	内野 繁	永野 淳司					

(円)



◆発行/お問合せ 朝陽同窓会事務局 〒160-0014 東京都新宿区内藤町11-4 都立新宿高等学校内
 電話：03-5368-8366 FAX：050-3730-0138
 ホームページ：http://www.nchouyou.net/ 電子メール：jchouyou@estate.ocn.ne.jp